

# 第1号議案 2021年度 事業報告書

特定非営利活動法人 アイ・エス・オー有効活用センター

## I 事業期間

2021年（令和3年）4月1日 ～ 2022年（令和4年）3月31日

## II 事業の成果

設立20年目として、ISOマネジメントシステムの普及、運用、企業支援活動を中心に展開してきた。新型コロナウイルスの拡大に伴い、セミナー事業は、ZoomによるWeb研修会となり、3回実施できたが、監査事業が実施できなかった。また、今年度初めて内部監査をテーマにZoomによるWEB交流会を実施し、会員以外の研修会参加者とも交流機会が実現した。

正会員の拡大はなかったが、賛助会員は1社増える成果があった。滋賀県環境保全協会との連携研修は、コロナ禍の状況もあり、自粛傾向が続いたが、会員による支援連携活動ができた。

組織運営に関して定例理事会は、コロナ禍の感染防止からZoomによるWEB会議となり、例年通り6回開催した。

## III 事業の実施状況

### 1 特定非営利活動に係る事業

#### (1) セミナー事業

無料WEB研修会が3回実施し、内部監査に関する交流会をWEBで実施した。

#### (2) コンサル事業

##### ・無料相談

【内 容】構築・運用の無料相談

【実施場所】コロナ禍の状況により、実現はしなかった。

##### ・企業支援

【内 容】構築・運用コンサル

【実施場所】新規のコンサル指導等は実現しなかった。

#### (3) ISO 監査事業

##### 1) 【内 容】第三者による内部監査代行（ISO14001、ISO9001）

【実施場所】コロナ禍の影響で実施できなかった。

##### 2) 【内 容】自己宣言型ISOの認定及び認定更新

【実施場所】新規及び継続の自己宣言型運用検証監査は無かった。

## IV 社員総会の開催状況

2021年度総会は、2021年5月22日（土）にZoomによるWEB会議として実施した。コロナ禍での感染防止対策に留意して書面表決も含め14名（正会員21名の内）が参加し（委任状6名）、2020年度事業報告書、事業活動計算書、財産目録、貸借対照表の承認事項を承認した。また、2021年度の事業計画書、予算書案について議論し、承認をした。

V 理事会その他の役員会の開催状況

理事会は、2ヶ月に1度の開催となり、偶数月の土曜日にWEB理事会として以下の日程で実施した。

2021年度

第1回	2021.04.24(土)	20:00~21:00	ZoomによるWEB会議
第2回	2021.06.26(土)	20:00~21:30	ZoomによるWEB会議
第3回	2021.08.21(土)	20:00~21:30	ZoomによるWEB会議
第4回	2021.10.23(土)	20:00~21:45	ZoomによるWEB会議
第5回	2021.12.11(土)	20:00~21:50	ZoomによるWEB会議
第6回	2022.02.19(土)	20:40~22:30	ZoomによるWEB会議

## 第2号議案 2021年度 特定非営利活動に係る事業活動計算書

特定非営利活動法人 アイ・エス・オー有効活用センター

2021年4月 1日 から 2022年 3月31日 (単位 円)

科 目	決算	今年度予算	差違	備考
<b>I 経常収益</b>				
<b>1 入会金</b>				
正会員入会金収入	0	50,000	-50,000	入会者なし
賛助会員入会金収入	20,000	60,000	-40,000	榑雄交1社入会
<b>2 寄付金</b>				
会員寄付	0	0	0	
その他寄付	0	0	0	
<b>3 事業収益</b>				
セミナー事業	0	200,000	-200,000	
コンサル事業		0	0	
監 査事業	0	450,000	-450,000	内部監査代行事業、検証監査事業もなし
<b>4 その他収益</b>				
受取利息	6	0		銀行利息
雑収入				
当期経常収益 合計(A)	20,006	760,000	-739,994	
<b>II 経常費用</b>				
<b>1 事業費</b>				
(1)人件費	30,000	430,000	-400,000	研修会講師代(堀1万円、岸1万円、正木1万円)
(2)その他経費				
会議費	0	50,000	-50,000	Zoom研修会会場費なし
旅費交通費	0	70,000	-70,000	Zoom研修会で交通費なし
広報費	31,880	50,000	-18,120	さくらレンタルサーバー料、HP更新料、HPに会員情報欄追加
印刷費	0	10,000	-10,000	
事務費	0	20,000	-20,000	
通信費	0	10,000	-10,000	
支払手数料等	902	5,000	-4,098	振込手数料
その他経費 計	32,782	215,000	-182,218	
事業費 計	62,782	645,000	-582,218	
<b>2 管理費</b>				
(1)人件費	0	0	0	事務アルバイト費等
(2)その他経費				
会議費	0	15,000	-15,000	理事会はZoomで会場費等なし
旅費交通費	960	40,000	-39,040	手続き交通費(西田)
印刷費	0	5,000	-5,000	
事務費	0	5,000	-5,000	
通信費	1,160	5,000	-3,840	総会議事録、会計監査関連郵送費
支払手数料	0	5,000	-5,000	
その他経費 計	2,120	75,000		
(3) 予備費	0	40,000	-40,000	
管理費 計	2,120	115,000	-112,880	
当期経常費用 合計(B)	64,902	760,000	-695,098	
当期経常増減額(A) - (B) = (E)	-44,896	0		
<b>III 経常外収益</b>				
固定資産売却益等				
経常外収益 合計(C)		0		
<b>IV 経常外費用</b>				
固定資産売却損等				
経常外費用 合計(D)		0		
当期経常増減額(E) + (C) - (D)	-44,896	0		
前期繰越正味財産額	759,568	759,568		
次期繰越正味財産額	714,672	759,568		

# 第3号議案 2022年度事業計画書

特定非営利活動法人 アイ・エス・オー有効活用センター

## I 事業の実施方針

- ・ 2022年度は、コロナ禍での対応に留意して、ISO14001、ISO9001、ISO27001、ISO45001等の運用を中心に、企業に有効な支援が求められる。特に、運用や内部監査に関して有効性が評価されることから、内部監査員のスキルアップや関連した情報提供、経験交流の事業を推進することを目指す。
- ・ 事業活動としては、3密を避けた行動に留意して、ZoomによるWEBセミナーやコンサル活動を展開する。また、ISO以外の企業ニーズに合致した課題を探りながら多様な支援活動を検討し、実施につなげる。自己宣言型の検証監査も継続する。
- ・ 滋賀県環境保全協会等の団体と積極的に連携し、滋賀県での運用支援を強化する。内部監査員の新規格スキルアップ研修会の実施、ISOのスリム化、運用効果の向上を目指す。
- ・ また、SDGs、省エネ活動、廃棄物削減、危険物・化学物質管理、法令管理、事業継続、災害対応等の課題は、ISO関連分野と位置づけて多様な支援事業を図る。
- ・ 今後の事業展開を見据えて、企業担当者、事務局支援の情報交流会や広報的な情報提供により、企業との結び付きと協力関係を強化する。
- ・ 理事会、正会員の高齢化等に関連して事業継続、事務局体制の維持が議論になっている。今後のNPO活動の在り方や事務局体制、事業展開の方向などを検討し、方向づける。

## II 事業の実施に関する事項

### 1 特定非営利活動に係る事業

#### (1) セミナー事業

【内 容】無料の課題、関心分野の研修会、交流会

【実施日時】随時実施予定（概ね6回）

【事業の対象者】企業のISO担当者、内部監査員、経営改善に興味のある方

【収 入】 0円

【支 出】 講師料6万円（無料研修会4回4万円、交流会2回2万円）

会議費1万円、交通費1万円

対面、又はZoomによる研修会、交流会とする。計8万円

#### (2) コンサル事業

- ・ 無料ISO相談、無料省エネ診断等の支援

【内 容】移行・運用の無料相談

【実施場所】電話相談、企業先訪問

【事業の対象者、方法】新規格移行の組織、団体：電話、メール相談

【収 入】 0円

【支 出】 交通費2万円

- ・ 企業支援

【内 容】ISOコンサル（移行更新、スリム化、有効活用）

【実施場所】要支援希望団体

【実施日時】適時

【事業の対象者】ネットによる要請を受けた希望団体

【収 入】 0円

【支 出】 0円 コンサル事業は、原則会員に紹介し、会員個人の責任で実施

(4) ISO 監査事業

【内 容】第三者による自己宣言型 I S O 認定は 1 社目標、内部監査及び内部監査の代行は、1 社

【実施場所】要構築希望団体

【実施日時】適時

【事業の対象者】要内部監査希望団体

【収 入】10 万円（1 日/回）×2 社 = 20 万円（内部監査 1 社、自己宣言 1 社）  
認定書発行費用 5 万円× 1 社=5 万円

合計 25 万円

【支 出】講師料 1 社 6 万円(1 日/回)×2 社 = 12 万円

交通費 2 万円 事務費 2 万円 通信費 1 万円

認定維持内部監査チェック人件費 1 万×1 社=1 万円

合計 18 万円

(5) 情報発信・広報事業

【内 容】ISO 情報、企業関心事をHPに載せ、HPを更新して情報発信に努める。Zoom システムを導入して研修会、交流会等による情宣、広報の強化

【収 入】0 円

【支 出】6 万円（レンタルサーバー使用料等 1 万円 HP更新メンテ費 3 万円、  
Zoom 登録料 2 万円）

第4号議案 2022年度 特定非営利活動に係る事業活動予算書

特定非営利活動法人 アイ・エス・オー有効活用センター

科 目	予算	前年度予算	差違	備考
<b>I 経常収益</b>				
1 入会金				
正会員入会金収入	50,000	50,000	0	5人見込み
賛助会員入会金収入	60,000	60,000	0	3社見込み
2 寄付金				
会員寄付	0	0	0	
その他寄付	0	0	0	
3 事業収益				
セミナー事業	0	200,000	-200,000	
コンサル事業	0	0	0	会員に委託
監 査事業	250,000	450,000	-200,000	2社見込み
4 その他収益				
受取利息	0	0	0	
当期経常収益 合計(A)	360,000	760,000	-400,000	
<b>II 経常費用</b>				
1 事業費				
(1)人件費	190,000	430,000	-240,000	セミナー・監査講師料、交流会講師料
(2)その他経費				
会議費	10,000	50,000	-40,000	
旅費交通費	50,000	70,000	-20,000	営業旅費を含む
広報費	60,000	50,000	10,000	レンタルサーバー料等 HP更新メンテ費用 Zoom登録料
印刷費	0	10,000	-10,000	
事務費	20,000	20,000	0	テキスト等作成、その他
通信費	10,000	10,000	0	
支払手数料等	5,000	5,000	0	印紙代含む
その他経費 計	155,000	215,000	-60,000	
事業費 計	345,000	645,000	-300,000	
2 管理費				
(1)人件費	0	0	0	事務アルバイト費等
(2)その他経費				
会議費	15,000	15,000	0	会場費、お茶代等
旅費交通費	40,000	40,000	0	理事会交通費
印刷費	5,000	5,000	0	総会等資料コピー代
事務費	5,000	5,000	0	事務用品、封筒等
通信費	5,000	5,000	0	
支払手数料等	5,000	5,000	0	
その他経費 計	75,000	75,000	0	
(3) 予備費	40,000	40,000	0	
管理費 計	115,000	115,000	0	
当期経常費用 合計(B)	460,000	760,000	-300,000	
当期経常増減額(A) - (B) = (E)	-100,000	0	-100,000	
<b>III 経常外収益</b>				
固定資産売却益等				
経常外収益 合計(C)	0			
<b>IV 経常外費用</b>				
固定資産売却損等				
経常外費用 合計(D)	0			
当期経常増減額(E) + (C) - (D)	-100,000	0		
前期繰越正味財産額	714,672	759,568		
次期繰越正味財産額	614,672	759,568		

第5号議案 役員改選の件

役職	氏名	備考
理事	岸 孝雄	新任
副理事長	中野 孝	再任
専務理事	西田 一雄	再任
理事	橋本 温子	再任
理事	堀 将悟	新任
理事	堀田 義久	再任
理事	正木 準	再任
理事	宮本 武敏	再任
理事長	若井郁次郎	再任
監事	吉川 了平	再任